

で約六〇台が陳列されている。マニアにとってはいくら時間をかけて眺めても飽きないのではないだろうか。そして日本画、江戸期から現代まで横山大観、川合玉堂等々巨匠の作を拝観、一四時四〇分館を出て二〇分ほど走り忍野八海(山梨県南都留郡忍野村)着、ここ数年観光地として人気も高まり、秋の好シーズンのせいかわいくクデーながら人も多い。周辺の道中がせまい。駐車場所に苦労する。富士山の伏流水を貯えた忍野池。地下水湖からの湧水池が八つある。湧池、出口池、濁池、菖蒲池、鏡池、銚子池、底抜池、お釜池、それぞれに伝説が伝えられる神秘的な湧水池、入ってすぐの湧池、小さな池で池の中に直径二メートルほどの横穴水路があるとか、こんなと水が湧きだしている清冽な湧水池、時間の都合でこの池だけを見て近くで記念撮影の後、暫らく銘々で近辺を散策する。

七、八年前訪れた時にくらべ観光客増のためか新しい施設が出来

たり、土産物屋が増えたり素材さが少し減り、商業主義が少し目立ったような気がしました。

一五時四〇分忍野発帰途につきました。大多数の希望で新宿着解散となりました。都心に近づくにつれ若干渋滞がありましたが無事六時新宿着、お土産のジャムをいただいて解散しました。

天候にも恵まれ、一日中富士山がお付き合いをしてくれた楽しい一日でした。(N)

辰巳会東京支部秋の例会参加者			
平成十一年一〇月二十八日			
富士山麓忍野八海と高村美術館			
(五十音順・敬称略)			
立花	實森	美子	
靖川	耿長橋	忠男	
安東	浄荒木	義弘	
田代	ヨシ子	計八名	
西川	明子		

物 故 者 名 簿

(「たつみ誌」62号以降)

御 芳 名	死 亡 年 月 日	享 年	鈴木時代の職歴又は現職
高 畑 薫 幸	平成11年1月19日	96歳	太 陽 鋳 工 (株) 監 査 役
井 上 好 正	平成11年7月	88歳	帝 人 (株)
芦 原 有 一	平成11年10月25日	82歳	
国 広 五 郎	平成11年11月10日	94歳	(株) 神 戸 製 鋼 所 常 務

辰巳会会員便り

青柳 節子

早々に「日銀総裁速水氏」のニュース他、盛り沢山の内容でゆっくり読ませていただきました。表紙も事のほか上品で今年の「兎」も何やら良いことを沢山運んでくれるような気がしてきます。

この度始めて金子直吉翁は、土佐出身であることを知ったのですが、昨年は、私にとってはまさに「高知年」といってもよい年でした。年頭から始めた「よさこい祭り」イキ、粹仲店鳴子隊」と称する「よさこい踊り」のアレンジの踊りを持って本場、高知までいってきました。

八月の高知はうだるような暑さでしたが、小学生もふくめて、一人もリタイヤすることなく、全員が踊りおえたことは嬉しい事でした。四年前の震災といい、昨年の高知行といい、「何とも不思議な

縁つづきのこと」と思う今日この頃です。これは私だけの夢ですが、次には神戸でぜひ一さし、舞いを献上したいと思うのです。(出来れば、高知の舞姫の方々と)編集後記では、編集のかたが健康を害された由。このところインフルエンザなどという厄介な風邪が流行っております。皆様、ご自愛下さい。と同時に、この一冊のできるまでの皆様のご苦勞にも重ねて感謝致します。

一九九九年・一・二十二

敬具

菅 てるひ

毎年御丁寧な辰巳会報「たつみ」を御送付頂きまして厚く御礼申し上げます

其の度に早くご連絡させて頂かなくてはと思い乍ら今に成りまして誠に申し訳ございません。菅純一は、平成二年二月二十三日、七十六才にて死亡致しました。皆様方には長らくの間大変お世

話に成りましてほんとうに有難うございました。辰巳会報を私は楽しみに拝見させて頂きました。有難うございました。

お世話して頂きますのは大変な事と存じますがどうか長くお続けくださいませ。ご連絡遅く成りました事心よりお詫び申し上げます。

辰巳会様

一月二十七日、菅 てるひ

月岡 定康

前略

過日は辰巳会に初参加させて頂きましたこと厚くお礼申し上げます。

扱って、当日のスナップ写真を送付して戴き有難度うございます。記念に頂戴させていただきます。ご出席の方々は、かくしゃくとされた人ばかりで大変刺激を受けた次第です。次の機会も是非参加

させて戴きたく思っております。お世話される方々のご健康と、辰巳会の益々の発展をご祈念申し上げます。右 お禮まで

草々

平成十一年六月六日

月岡 定康

辰巳会事務局様

原稿募集

内容 随想 短歌 俳句 詩

写真 鈴木往時の思い出 近況などを

必ず原稿用紙に縦書で

四百字詰五枚程度

締切 随時

送先 神戸市中央区磯辺通

一丁目一ノ三九

太陽鋳工株式会社内

「たつみ」編集部宛